

事業所名 社会福祉法人ウイング にこにこ

支援プログラム (参考様式)

作成日 2024 年 10 月 1 日

法人 (事業所) 理念		【法人理念】 <ミッション>=使命・存在目的 ●障害児・者やその他介護を必要とする方の地域生活支援の提供拠点 <ビジョン>=将来の望ましい姿 ●障害のある人もない人もお互いに支えあって生活できる地域社会を目指す。 <バリュー>=大切にしたい中核的価値観・信念・行動理念 ●利用者の主体性に基づくサービス提供 ●パートナーシップでつながる利用者とスタッフの関係 ●プロフェッショナル集団であることとスタッフの自己実現 ●地域密着・開かれた福祉拠点			
支援方針		○生活スキル・マナーを身につける ○豊かなコミュニケーション力を育てる ○元氣な「こころ」と「からだ」をつくる 【児童発達支援】障害児が日常生活における基本動作を習得し、及び集団生活に適用することができるよう、当該障害児の身体及び制止の状況並びにその置かれている環境の応じて、適切かつ効果的な指導及び訓練をおこないます。【放課後等デイサービス】障害児が生活能力向上のために必要な訓練を行い、及び社会との交流を図ることができるよう、当該障害児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練をおこないます。			
営業時間		平日 15 時 00 分から 17 時 30 分まで 休日 10 時 00 分から 16 時 00 分まで	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	○健康な心と身体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援する。 ・来所時の検温、支援中の健康観察 ・長期休み等変化があっても、通所することで生活リズムの維持 ・集団生活・活動を通して身体を動かして健康な身体づくり ・生活の中で様々な遊びを通じて学習できる環境をつくる ・基本的な生活スキルの獲得 (食事、排泄、衣類の着脱、私物の管理・片付け等)			
	運動・感覚	○日常生活に必要な移動能力向上・運動機能向上・姿勢維持のための支援をする。 ○視覚、聴覚、触覚等保有する感覚を十分に活用できるように支援する。 ・移動能力向上のための散歩の実施 ・会や活動時に正しく着席することでの姿勢維持 ・公園に行き遊び、フラダンスをする、ポッチャをする等、運動動作の支援 ・外出にて四季折々に触れ感覚を身につける ・音楽活動や工作制作活動を通じて感覚刺激をおこなう ・感覚過敏な方ヘイヤーマフの使用、環境 (音、仕切り等を使用して) 調整			
	認知・行動	○五感の感覚を十分に活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援をする。 ○認知の特性を踏まえ、自分に入って来る情報を適切に処理できるように支援する。 ・日々の予定を伝える、タイムテーブルを確認する等を児童に伝え時間の概念を形成 ・絵や写真、言葉からの情報の認知・行動の支援 ・集団でのダンス活動にて周りに合わせて観察して踊ることで認知機能の発達の促す ・集団での活動やゲームの参加で適切な行動形成、認知の偏りへの配慮 ・特性に配慮して、時間や空間をわかりやすく構造化する			
	言語 コミュニケーション	○具体的な物事や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援をする。 ○発声が難しい方には、指さし、身振り、サインや絵カード、文字等のコミュニケーション手段を用いて、環境の理解と意思の伝達が円滑にできるように支援する。 ・帰りの会等発言の機会を提供して発声を促す。 ・七夕や年始等季節の節目に目標を書いてみる (文が難しい場合は、線や絵で表現) ・言葉での伝達が難しい方は、絵カードやホワイトボード等を使ったコミュニケーションの活用 ・教材や宿題を使った読み書き等の支援			
	人間関係 社会性	○人の関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、信頼関係を基盤に、周囲の人と安定した関係を形成するための支援をする。 ○ルールを守って遊ぶ協同遊びを通じて社会性の発達を支援する。○集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるように支援する。 ・特定のスタッフが支援をするのではなく、様々な方が関わられるように日程を作成 ・初めて行なう活動を取り入れ、スタッフの動きを模倣する支援 ・活動を全員で行なうことで集団参加を支援 ・公園や施設等の社会資源を利用してのルール、社会性の理解			
家族支援		・家族からの発達状況や特性の理解に向けた相談援助や情報提供をおこなう ・日々の様子を伝え、どのような支援をおこないご本人の成長に繋げるか検討 ・学校等関係機関との情報を共有して協同でのアプローチをおこなう	移行支援	・ライフステージの切り替えを見据えた支援目標や支援内容を設定する。 ・関係機関と情報共有・交換・提供をおこないスムーズな移行を目指す	
地域支援・地域連携		・学校等関係機関との情報共有や調整、支援方法や環境調整に関する相談援助等をおこない支援計画の見直しをおこなう ・町 (地域) の公園や施設へ出かけ、活動を行い、挨拶を積極的におこなうことで交流を図る	職員の質の向上	・研修の機会提供 個人情報保護研修・感染症研修 (年 2 回)・権利擁護虐待防止研修 (年 2 回)、避難訓練、不審者対応研修、法人内研修等 ・定期的な職員間の情報共有・交換・確認の実施	
主な行事等		季節に合わせた行事の取り組み 春の遠足 夏 水遊び 夏祭り 秋 ハロウィン 冬 クリスマス会 調理学習・保護者親睦会			